



イタリア・オペラにようこそ

～映画とライブ、至福の一夜～

2014年11月7日(金) 開場 17:30 / 開演 18:00 (終演予定21:00)
弘前文化センター・ホール 〈弘前市下白銀町19-4〉



第1部 映画『椿姫ができるまで』上映

第2部 ソプラノリサイタル
—杉原かおり、オペラの名曲をうたう
(ピアノ・浅野 清)

チケット 前売 1,500円 / 当日 2,000円
(学生・harappa会員 1,000円)

チケット取扱店

中三 弘前店、紀伊國屋書店 弘前店、弘前大学生協、まちなか情報センター、コトリcafé



© LFP - Les films Pelléas, Jour J Développement, Acte II visa d'exploitation n°129 426 - dépôt légal 2012

出演：ナタリー・デセイ（ヴィオレッタ役）

チャールズ・カストロノヴォ（アルフレード役）

ジャン＝フランソワ・シュヴァアディエ（演出）

ルイ・ラングレ（音楽監督）

ロンドン交響楽団（演奏）

イタリア・オペラの巨匠、ジョゼッペ・ヴェルディの「椿姫」が、2011年夏、南フランスのエクサン・プロヴァンス音楽祭で上演された。ヒロイン・ヴィオレッタを演じるのは、フランスの実力派ソプラノ歌手ナタリー・デセイ。演出するのは、数々のイタリア・オペラを手がけたジャン＝フランソワ・シュヴァアディエ。

映画はこの二人を中心にして、「椿姫」の舞台がどのように作られていくかをスリリングに追って行く。

90時間に及ぶ撮影フィルムをもとに編集されたこの作品は、映画ファンのみならず、音楽ファン^{とりこ}の心を必ずや虜にするだろう。

第2部 ソプラノリサイタル —— 杉原かおり、オペラの名曲をうたう

◆ プログラム

ヴェルディ：ストルネッロ

ヴェルディ：オペラ《オテッロ》より「柳の歌」
その他

映画の余韻に浸ったあとは、「豊かな表現力と地中海の歌声」と評された、杉原かおりさんのソプラノアリアに耳を傾けよう。杉原さんは、2000年、ミラノにおいて、プッチーニの名作「ラ・ボエーム」のミミ役でデビュー後、イタリア各地において「蝶々夫人」や「トスカ」など、数々のオペラでソリストとして活躍。ついこの前(9月20日)も、東京・ヤマハホールでリサイタルを開いたばかりだ。

ピアノは、浅野 清さん。ベートーヴェンピアノソナタ全曲演奏などで名を馳せたピアニストは、歌い手の声と心にひたと寄り添う名伴奏者でもある。

このお二人の息の合った演奏を、どうぞお楽しみに。

◆ プロフィール



杉原 かおり *Kaori Sugihara*

山形大学卒業、東京音楽大学大学院音楽研究科(声楽専攻)修了。1998年イタリアに留学し、ミラノ音楽院でR.エリー、D.マッツォーラ両氏に学ぶ。2001年ヴェルディ没後100年記念コンサートで高い賞賛を得、2002年に帰国。現在、弘前大学教育学部教授。



浅野 清 *Kiyoshi Asano*

国立音楽大学卒業、ジュリアード音楽院修了、ハイデルベルグ・マンハイム音楽大学卒業。1980年から1983年にかけてドイツ各地やパリにおけるソロ演奏、オーケストラとの共演がいずれも好評を博す。1984年帰国。現在、弘前大学教育学部教授、教育学部附属幼稚園長。